

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【公表番号】特表 2016-525395 (P2016-525395A)

【公表日】平成 28 年 8 月 25 日 (2016.8.25)

【年通号数】公開・登録公報 2016-051

【出願番号】特願 2016-526551 (P2016-526551)

【国際特許分類】

A 6 1 M 39/10 (2006.01)

A 6 1 M 39/20 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 39/10 1 0 0

A 6 1 M 39/20

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 20 日 (2017.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

薬物送達デバイス (1) の遠位先端 (2) 上に装着され、前記遠位先端が、前記薬物送達デバイス内に含まれる製品を移送するための軸方向通路 (3) を画定する、アダプタ (10) であって、前記軸方向通路上で心合わせされた長手方向軸 A を有し、前記アダプタをコネクタに接続するための接続手段 (34) を備え、

前記遠位先端上に解放可能に係合可能な内側リング (20) と、

前記内側リングから分離された圧縮手段 (30、32) であって、前記内側リングに対する前記圧縮手段の近位移動によって前記遠位先端上に係合された前記内側リング上に非解放可能にスナップ嵌合され、前記遠位先端に対する前記内側リングの軸方向移動を防止するように前記内側リングに対して求心圧力をかけることが可能な圧縮手段とをさらに備えることを特徴とするアダプタ (10)。

【請求項 2】

前記内側リングは円形壁 (21) を備え、前記円形壁は、前記円形壁の内面 (21c) に対して半径方向外向きにかかる圧力下で外向きに半径方向で伸張されることが可能であり、かつ前記円形壁の外表面 (21d) に対して半径方向外向きにかかる圧力下で内向きに半径方向で圧縮されることが可能であり、前記圧縮手段は、前記内側リングを少なくとも部分的に受け取ることが可能な外側リング (30) を備え、前記外側リングは、前記圧縮手段が前記内側リング上にスナップ嵌合されたとき前記円形壁 (21) の前記外表面 (21d) に対して求心圧力をかけることが可能な内側半径方向リム (32) を備えることを特徴とする請求項 1 に記載のアダプタ (10)。

【請求項 3】

前記円形壁 (21) は、その周囲の部分に沿って長手方向の切れ目 (23) を備え、前記長手方向の切れ目は、前記円形壁 (21) の近位端から遠位端に延びることを特徴とする請求項 2 に記載のアダプタ (10)。

【請求項 4】

前記周囲の部分は、前記円形壁 (21) に対して圧力がかけられていないとき、前記長手方向の切れ目 (23) の 2 つの長手方向縁部間に空き空間を画定するのに十分に広いこ

とを特徴とする請求項 3 に記載のアダプタ（10）。

【請求項 5】

前記周囲の部分は、少なくとも 2 mm 幅であることを特徴とする請求項 4 に記載のアダプタ（10）。

【請求項 6】

前記円形壁（21）は、前記圧縮手段を前記内側リング上に非解放可能にスナップ嵌合するために前記内側半径方向リム（32）と協働することが可能な遠位の環状外側リム（22）を備えることを特徴とする請求項 2 乃至 5 のいずれか一項に記載のアダプタ（10）。

【請求項 7】

前記接続手段（34）は、圧縮手段上に位置することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載のアダプタ（10）。

【請求項 8】

前記圧縮手段は、前記内側リングを少なくとも部分的に受け取ることが可能な外側リング（30）を備え、前記接続手段は、前記外側リング（30）の内壁上に設けられたねじ山（34）を備えることを特徴とする請求項 2 乃至 7 のいずれか一項に記載のアダプタ（10）。

【請求項 9】

薬物送達デバイス内に含まれる製品を移送するために軸方向通路（3）を画定する遠位先端（2）を備える薬物送達デバイス（1）であって、請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の少なくとも 1 つのアダプタ（10）をさらに備えることを特徴とする薬物送達デバイス（1）。

【請求項 10】

前記遠位先端（2）は、ガラス製であることを特徴とする請求項 9 に記載の薬物送達デバイス（1）。

【請求項 11】

前記遠位先端（2）は、円錐形であり、遠位方向にテーパ化されることを特徴とする請求項 9 または 10 に記載の薬物送達デバイス（1）。

【請求項 12】

前記遠位先端（2）は、前記内側リングが前記遠位先端上に係合されたとき前記内側リングを受け取ることが可能な環状の溝（4）を備えることを特徴とする請求項 9 乃至 11 のいずれか一項に記載の薬物送達デバイス（1）。

【請求項 13】

請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載のアダプタ（10）を請求項 9 乃至 12 のいずれか一項に記載の薬物送達デバイス（1）の遠位先端（2）上に装着するための方法であって、

前記内側リング（20）を前記遠位先端上に摺動可能に係合するステップと、

前記内側リングに対する前記圧縮手段の近位移動によって前記圧縮手段（30）を内側リング上にスナップ嵌合するステップと

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 14】

前記遠位先端（2）は、前記内側リングが前記遠位先端上に係合されたとき前記内側リングを受け取ることが可能な環状の溝（4）を備え、前記内側リング（20）は、前記環状の溝（4）内に受け取られるまで前記遠位先端上に摺動可能に係合されることを特徴とする請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載のアダプタ（10）と、前記アダプタに接続されたコネクタ（40）とを備えることを特徴とするアセンブリ。

【請求項 16】

前記アダプタからの前記コネクタの除去のタンパーエビデンス手段をさらに備えること

を特徴とする請求項 1 5 に記載のアセンブリ。